

学術フォーラムの概要について（事後報告）

1 名称：日本学術会議主催学術フォーラム・第11回防災学術連携シンポジウム
東日本大震災からの十年とこれから－58学会、防災学術連携体の活動－

2 日本学術会議以外の共同主催団体等：

- ・主催：日本学術会議防災減災学術連携委員会、土木工学・建築学委員会、
防災学術連携体（58学会）

3 開催日時：令和3年1月14日（木）10時00分～18時30分

4 開催場所：オンライン（Zoomによる講演発表＋YouTubeによる一般放映）

5 開催趣旨：

2011年東日本大震災の甚大な被害から十年が過ぎる。この期間にも日本の各地で多くの自然災害が発生した。これらの災害について、多くの学会は調査研究、記録、提言、支援などを続けてきた。大震災後10年を迎えるにあたり、防災学術連携体の各構成学会と防災減災学術連携委員会の委員が、東日本大震災の経験とその後の活動への展開を振り返り、今後の取り組みについて発表する。同時に、防災学術連携体の前身である「東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会」の30学会共同声明（2012年5月）を振り返り、今後の防災・減災、学会連携について議論する。

6 参加人数：

講演者等：49名

その他の参加者：視聴者数（平均）850名

（参加申込者：1200名、開催時間内総アクセス回数5000）

7 特記事項：

報道関係の視聴者多数（報道関係で60名以上の参加申込あり）

当日事務局への現地取材2社＋Zoomによる取材1社（NHK）

当日夕方NHK総合テレビのニュースにて放映され、複数の新聞にも掲載された。

講演に用いられたスライド資料、講演の動画、およびシンポジウムに合わせて発行した冊子は、防災学術連携体のホームページに掲載して、一般に展開している。

以上